

2022年3月期第3四半期 決算補足説明資料

株式会社インプレスホールディングス

2022年2月10日

免責事項

本資料の取り扱いについて 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動する可能性があります。当社は、本資料の情報の正確性あるいは完全性について、何ら表明及び保証するものではありません。

2022年3月期第3四半期業績

2022年3月期第3四半期連結業績

単位：百万円

	21/03期 第3四半期	22/03期(当期) 第3四半期		
	実績	実績	前期比	
売上高	10,494	11,141	+6.2%	+646
営業利益	954	960	+0.7%	+6
経常利益	1,027	1,030	+0.2%	+2
当期純利益	603	952	+57.7%	+348

※「収益認識に関する会計基準」等を22/03期第1四半期の期首から適用。

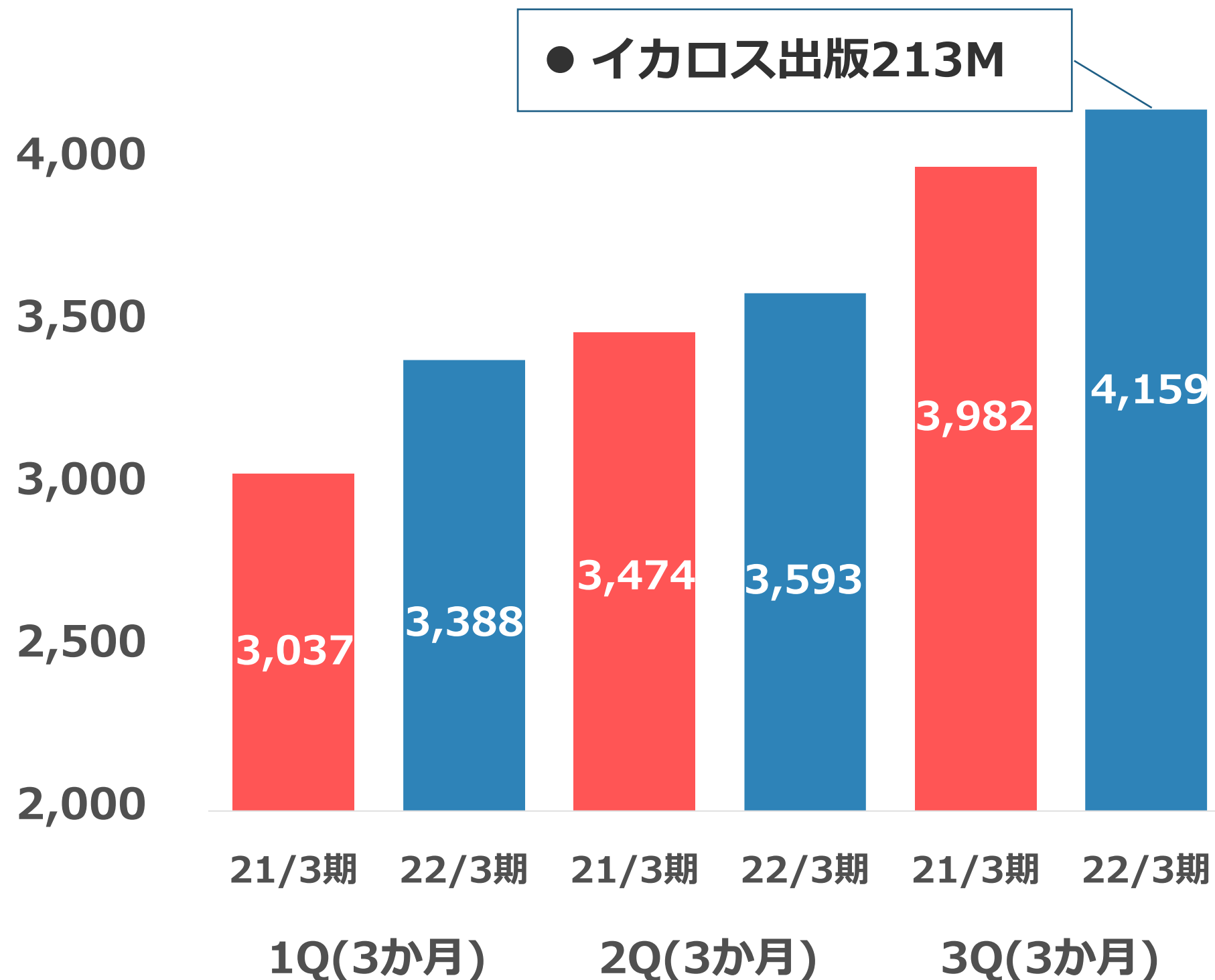
21/03月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で、遡及適用前と比べて、売上高は676百万円減少、営業利益、経常利益は各534百万円減少。

※イカロス出版の子会社化により、負ののれんの発生で特別利益187百万円を計上

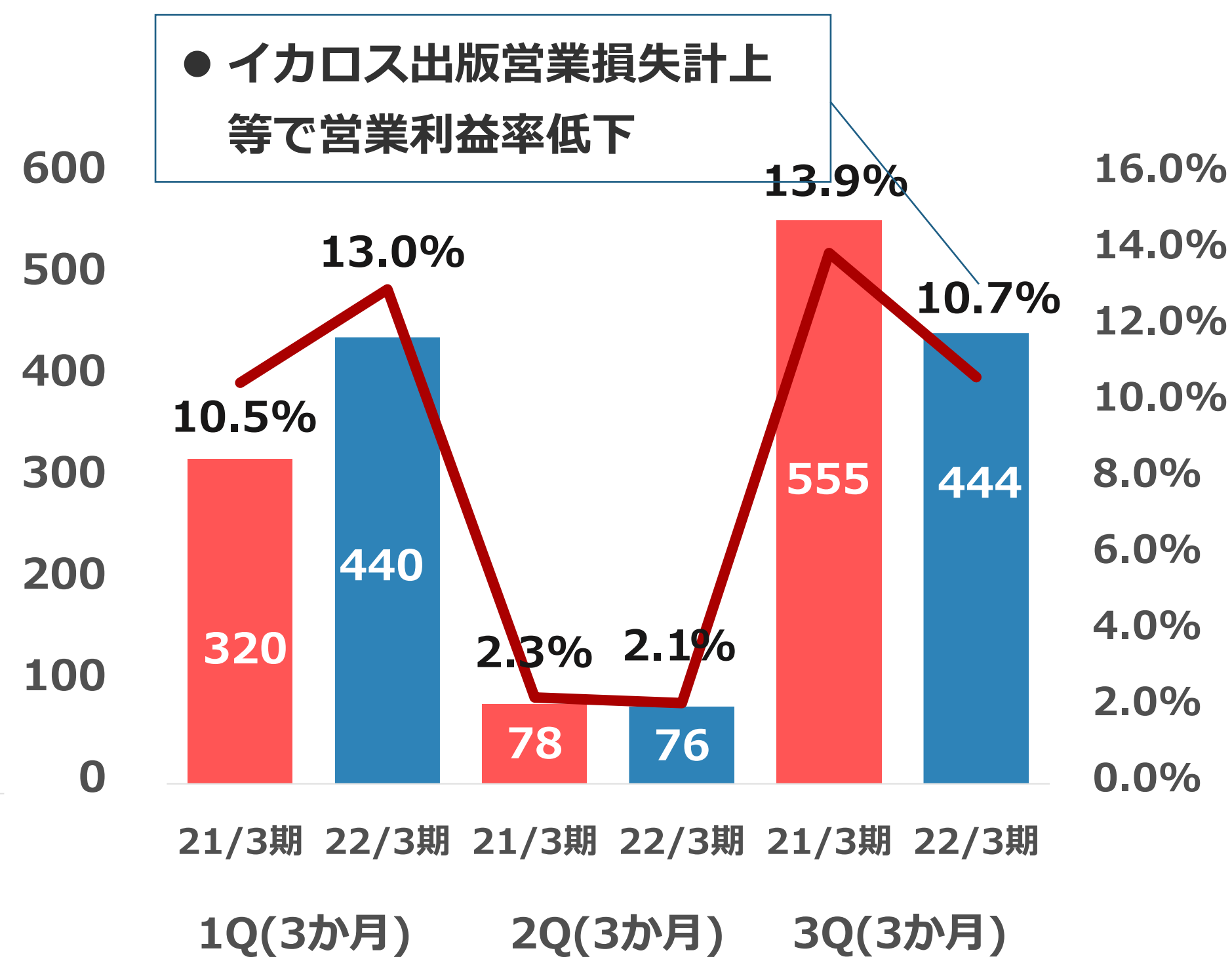
連結業績推移（売上高・営業利益・営業利益率）

単位：百万円

■売上高



■営業利益と営業利益率



2022年3月期第3四半期業績ハイライト

- 連結売上高は11,141百万円（前期比6.2%/ + 646百万円）
- 各段階利益で前期を上回り、当期純利益は952百万円（前期比57.7%/ + 348百万円）
- コロナ禍の巣ごもり需要は一巡しつつあるものの、出版は大型ムック刊行で増収、デジタル/ターゲット広告・イベント収入は好調を維持。電子書店の大型キャンペーンによる電子出版の増収も業績を後押し。
- 一方、電子コミックPFは売上計上方法変更、巣ごもり特需等の反動で大きく減収。
- イカロス出版の子会社化により、取得費用で70百万円の営業費用が発生したものの、負ののれんの発生で特別利益187百万円を計上。イカロス出版は当四半期より業績を取り込んでおり、売上で213百万円の寄与も、33百万円の営業損失を計上。
- 増収も、巣ごもり需要の反動や137百万円の投資（イカロス取得費用・営業損失/ABW投資等）の増加で、営業利益率が低下、営業利益の増加は+6百万円と限定的な水準に止まる。

22/03期3Q_営業利益の増減要因

単位：百万円

22/03期3Q営業利益

960

投資による利益減

- イカロス取得費用70M
- ABW投資34M
- イカロス営業損失33M

▲137

販管費増による利益減

- 電子出版・ネット/ターゲットメディア等の売上割合の向上（粗利率+0.2P）

▲58

粗利率向上による利益増

- 電子書店の大型キャンペーン
- 大型ムック刊行
- デジタル・ターゲット広告
イベント好調

+26

増収による利益増

+176

21/03期3Q営業利益

954

960

+6

954

※イカロス出版連結の影響は投資に含めており、その他の項目の増減額からは除外しております。

事業区分・セグメント別業績概要

2022年3月期第3四半期 事業区分別売上高

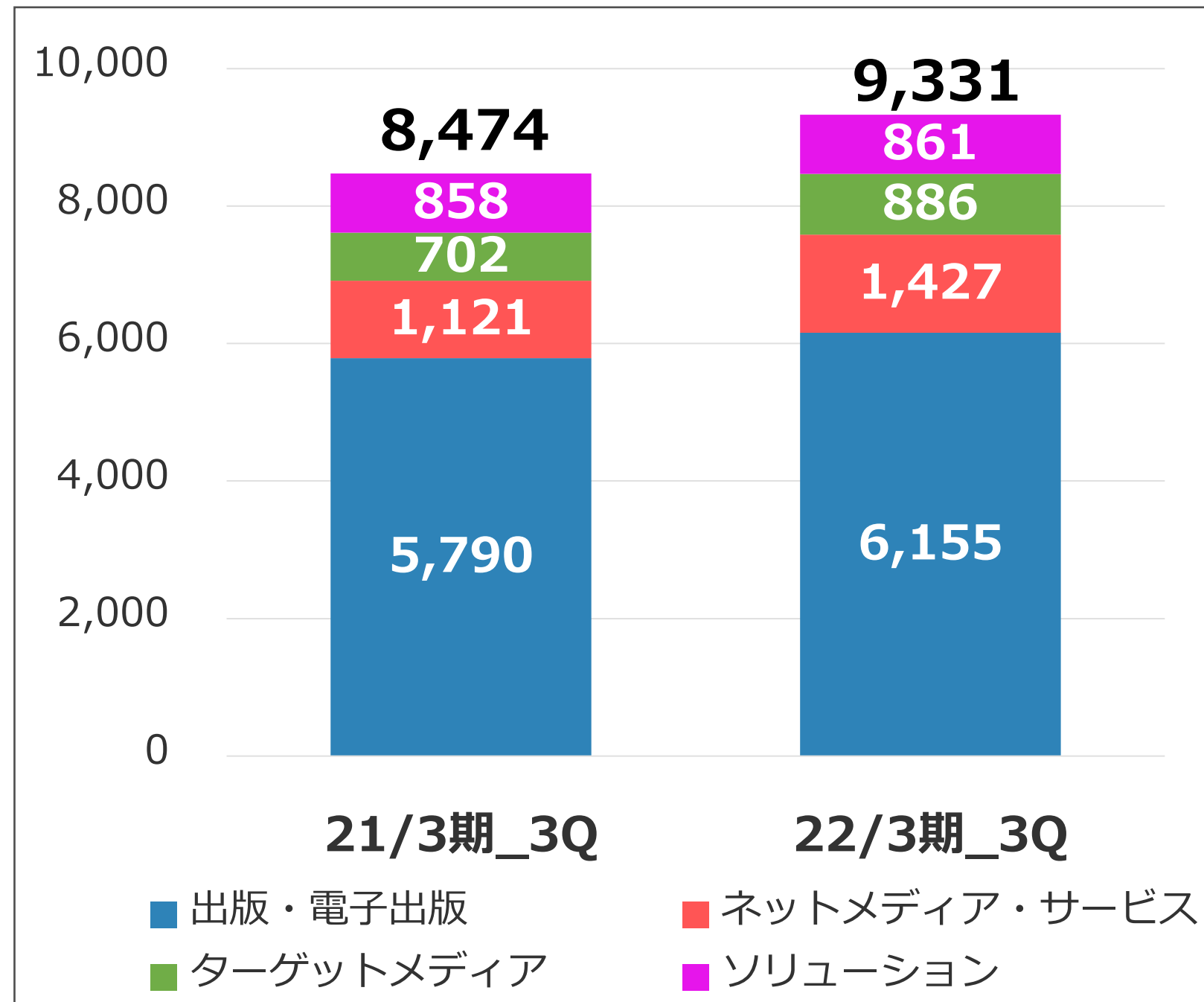
単位：百万円

事業区分	21/03期 第3四半期	22/03期(当期) 第3四半期		
	実績	実績	前期比	
コンテンツ事業	8,474	9,331	+10.1%	+857
出版・電子出版	5,790	6,155	+6.3%	+365
ネットメディア・サービス	1,121	1,427	+27.3%	+305
ターゲットメディア	702	886	+26.2%	+183
ソリューション	858	861	+0.3%	+2
プラットフォーム事業	2,020	1,810	▲10.4%	▲210
合計	10,494	11,141	+6.2%	+646

22/03期3Q_事業区分別売上高：コンテンツ事業

単位：百万円

■コンテンツ事業売上高



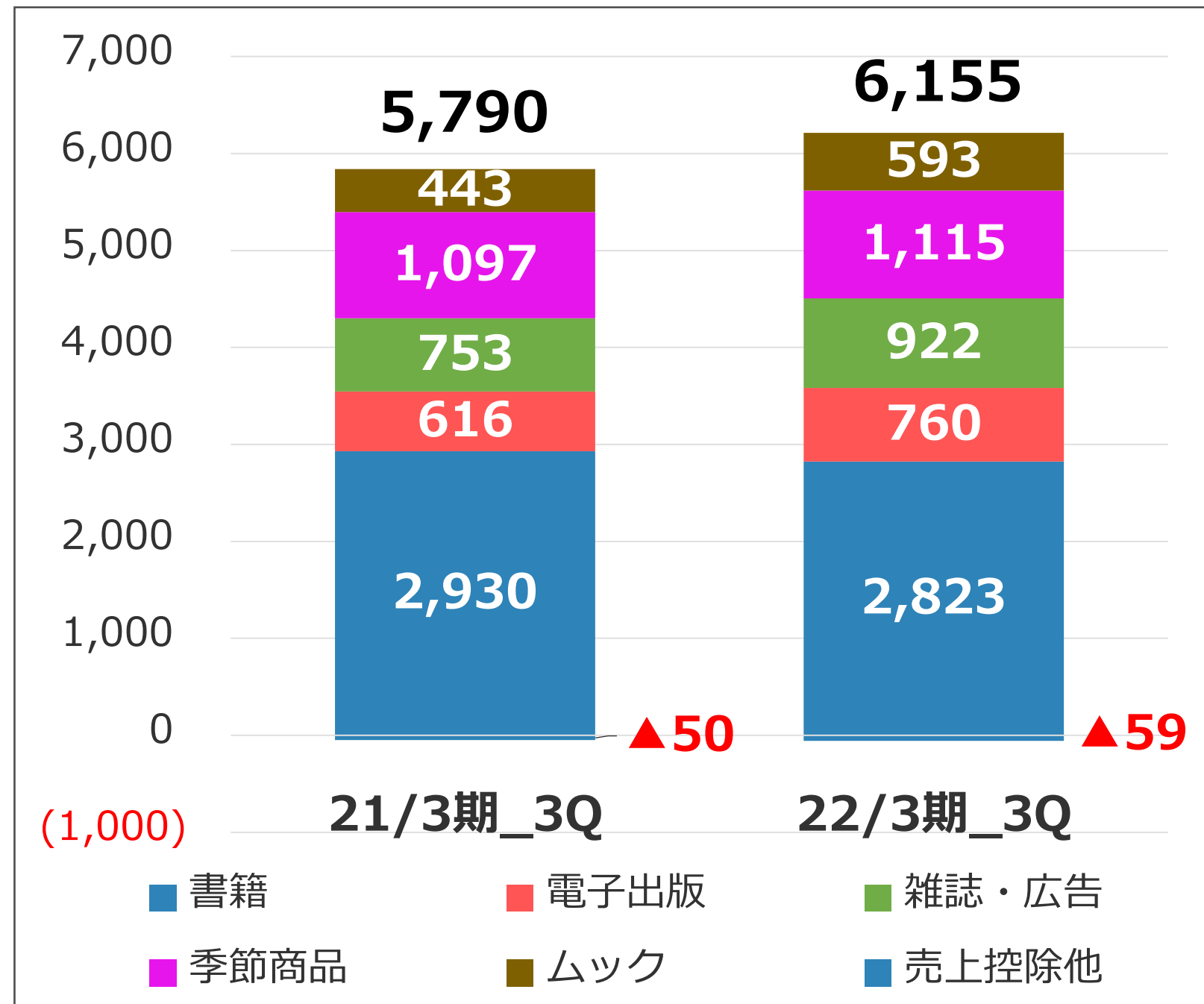
コンテンツ事業：+10%（+857M）の大幅増収 ※全区分で増収

- 出版・電子出版：+6%（+365M）の増収
イカロス出版連結で+210M、電子書店の大型キャンペーン等により電子出版の販売が増加のほか、音楽セグメントの大型ムックも貢献
- ネットメディア：+27%（+305M）の増収
ITセグメント：主力のImpress Watchのデジタル広告が好調を継続、音楽セグメントの新規メディア堅調
- ターゲットメディア：+26%（+183M）の増収
ITセグメント：ターゲット広告は好調を維持、イベント収入も増収

22/03期3Q_事業区分別売上高：コンテンツ事業_出版・電子出版

単位：百万円

■コンテンツ事業：出版・電子出版売上高



出版・電子出版：+6%（+365M）の増収

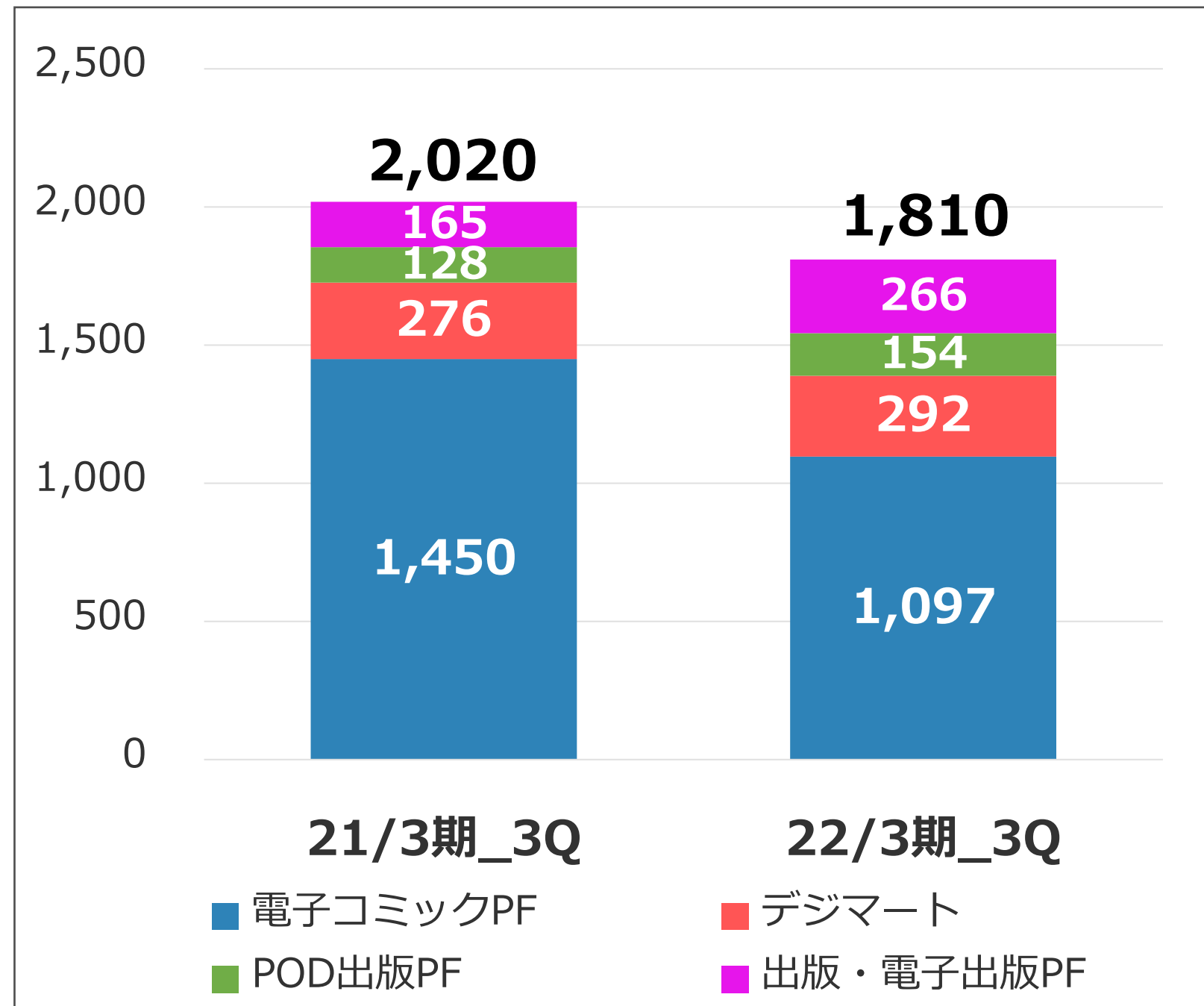
※うち、イカロス出版連結の影響+210M

- 書籍：▲4%（▲107M）の減収
巣ごもり需要の一巡等による出荷の減少
- 電子出版：+23%（+143M）の大幅増収
電子書店の大型キャンペーン等により好調維持
- 雑誌・広告：+22%（+168M）の増収
イカロス出版連結の影響+151M
- 季節商品：+2%（+17M）の増収
カレンダーの刊行点数増加、出荷堅調
- ムック：+34%（+150M）の増収
音楽セグメントでの大型ムックの刊行が寄与、イカロス出版連結の影響+46M

22/03期3Q_事業区分別売上高：プラットフォーム事業

単位：百万円

■プラットフォーム事業売上高

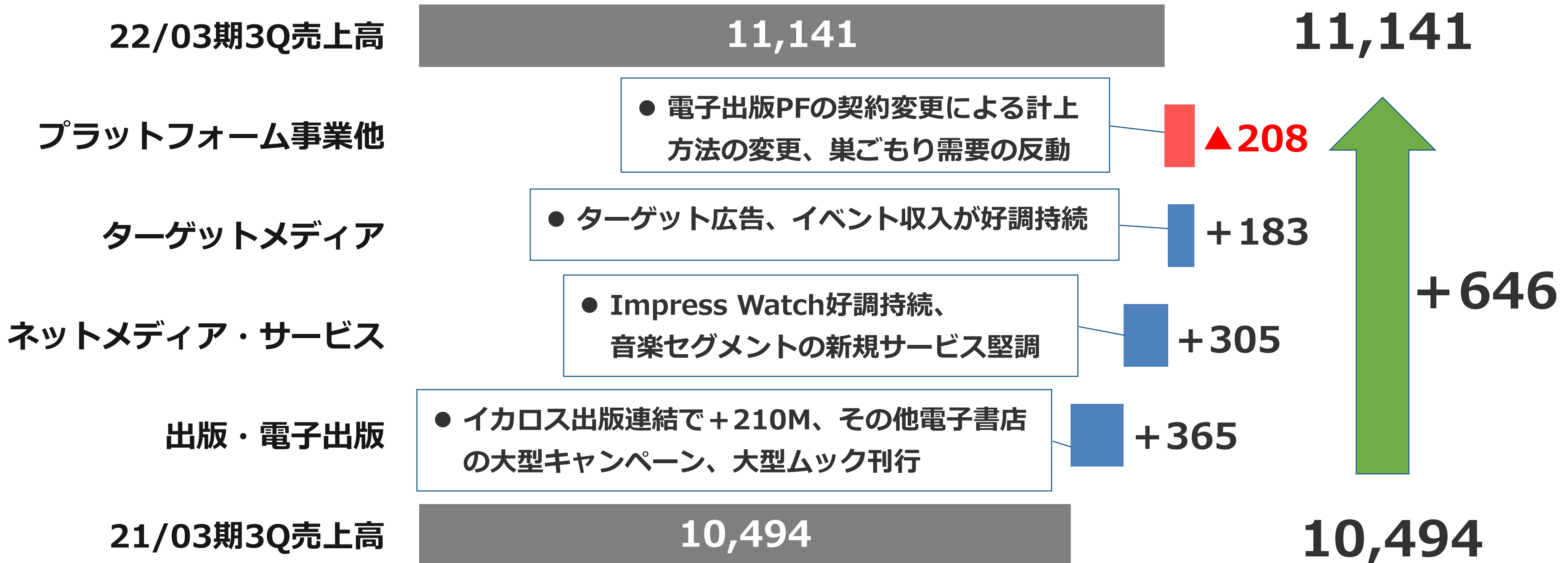


プラットフォーム事業：▲10%（▲210M） 電子コミックPFが契約変更等で大きく減収

- 電子コミックPF：▲24%（▲353M）の減収
契約変更による売上計上方法の変更と巣ごもり特需の反動等で大きく減収、海賊版サイトの影響も懸念事項
- デジマート：+6%（+16M）の増収
楽器店からの決済サービス収入が増加
- POD出版PF：+20%（+26M）の増収
ユーザー数と出版点数が好調に推移
- 出版・電子出版PF：+61%（+100M）の増収
パートナー出版社の増加により規模が拡大

22/03期3Q_事業区分別売上高の増減サマリー

単位：百万円



2022年3月期第3四半期 セグメント別売上高・営業利益

単位：百万円

セグメント区分	売上高		営業利益	
	金額	前期比	金額	前期比
IT	5,038	+11.1%	981	+358
音楽	1,547	+17.3%	145	+100
デザイン	812	▲1.3%	▲13	▲123
山岳・自然	1,507	+5.0%	147	+35
航空・鉄道	471	+89.4%	▲56	▲62
モバイルサービス	1,251	▲23.5%	236	▲115
その他	627	+0.4%	▲5	+4
全社＋消去	▲114	▲11.3%	▲475	▲191
合計	11,141	+6.2%	960	+6

2022年3月期連結業績予想

22/03期連結業績予想：前期からの増減

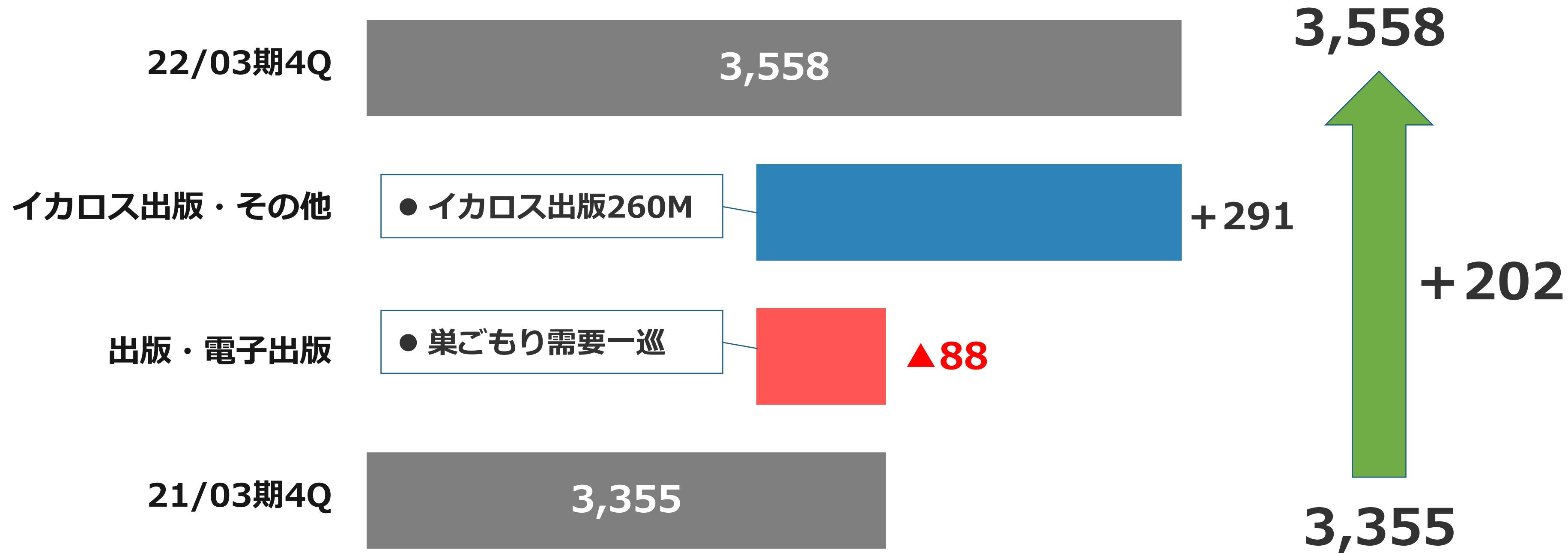
単位：百万円

※21/11公表の予想から変更なし

	通期			1~3Q			4Q		
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減
売上高	14,700	13,850	+849	11,141	10,494	+646	3,558	3,355	+202
営業利益	750	822	▲72	960	954	+6	▲210	▲131	▲78
経常利益	850	931	▲81	1,030	1,027	+2	▲180	▲96	▲83
当期純利益	850	676	+173	952	603	+348	▲102	72	▲174

22/03期4Q（3カ月）の売上見通し（事業区分別・前期比）

単位：百万円



※事業区分の増減額については、イカロス出版連結の影響を除外した値です。

イカロス出版の株式取得に伴う影響について

■ 当期連結決算における取扱い

- 第2四半期末にB/S連結を開始
- 損益は、21/10～22/03までの6か月の業績を連結

■ 事業セグメントの取扱い

- イカロス出版の子会社化に伴い、新規の事業セグメント「航空・鉄道」を新設
- 「航空・鉄道」はイカロス出版と天夢人で構成

■ 連結業績への影響について

□ 連結開始時に発生した影響

- 取得費用（営業費用） ⇒ 70百万円
- 負ののれんの発生益（特別利益） ⇒ 187百万円

□ 当期の業績見通し

- 売上高 ⇒ 470百万円
- 営業利益 ⇒ ▲70百万円（オフィス移転費用等20Mを含む）

(参考資料) 当社グループの概要

当社グループの「セグメント」と「事業」



コンテンツ事業 [メディア&サービス事業]

出版・電子出版



専門書籍・雑誌



電子書籍



年賀状ムック
カレンダー

コンテンツ事業 [メディア&サービス事業]

ネットメディア・サービス



デジタル総合
ニュース

登山

デザイン

エンタメ



コンテンツ事業 [メディア&サービス事業]

ターゲットメディア

IT Leaders



Web担当者
Forum

ビジネスメディア



インプレス 総合研究所
ドローンビジネス
調査報告書 2021
Drone Business Research Report 2020

春原 久徳 / 青山 祐介 / インプレス総合研究所 (編)

インプレス

調査報告書

インプレス SmartGrid ニュースレター

SmartGridフォーラム2020 (ウェビナー)
脱炭素と再エネ100%社会をどう実現するか!
-SDGsをバックアップする技術イノベーション-

【開催】2020年11月5日(木)
【主催】SmartGridニュースレター編集委員会

開催概要

イベント名	SmartGridフォーラム2020 (ウェビナー) 脱炭素と再エネ100%社会をどう実現するか! -SDGsをバックアップする技術イノベーション-
日時	2020年11月5日(木) 13:30~
開催形式	ライブ配信ウェビナー
主催	SmartGridニュースレター編集委員会 委員長 江崎 浩 東京大学大学院 理工学系研究科 教授 副委員長 西 宏幸 慶応義塾大学 理工学部 教授

イベント・セミナー

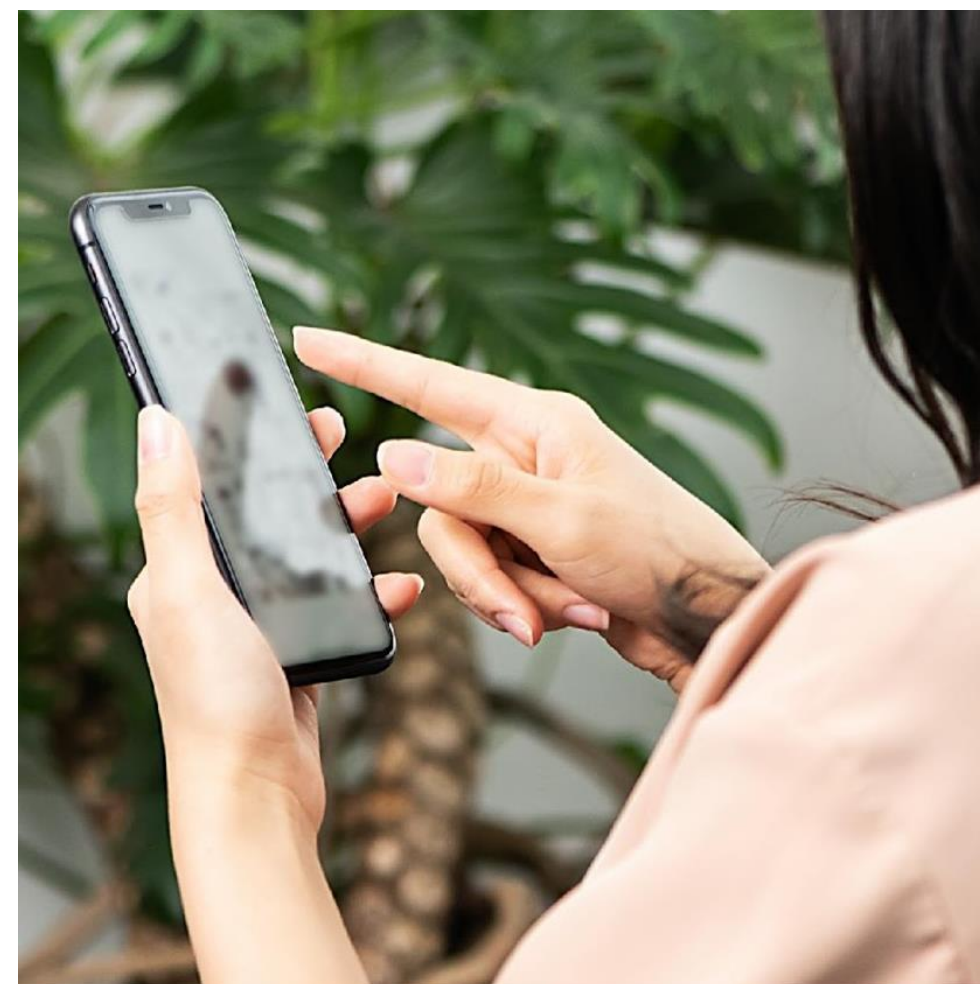
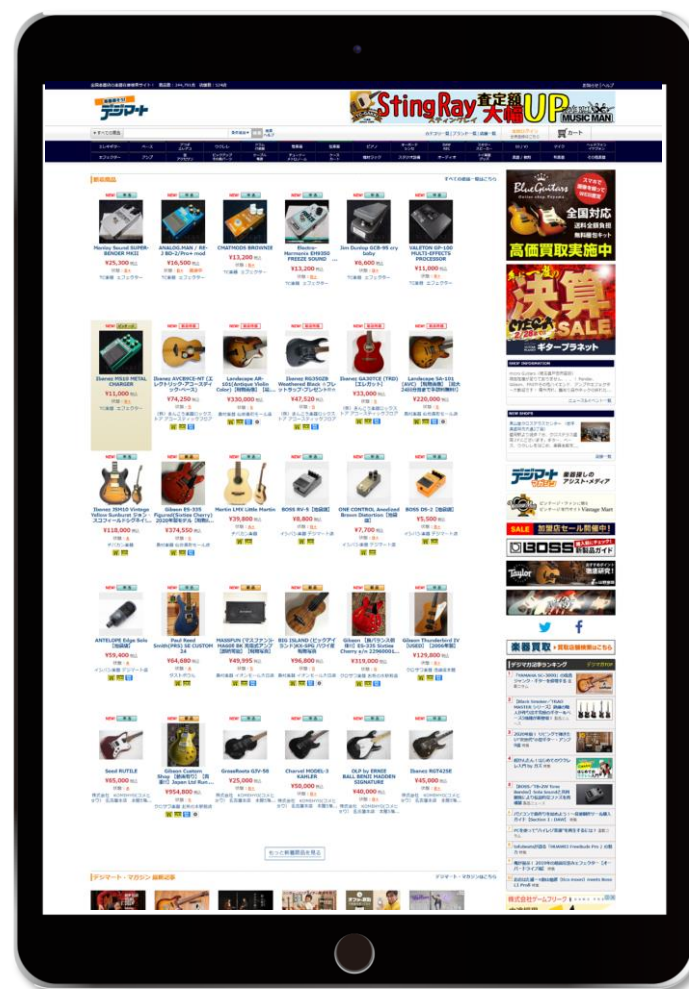
コンテンツ事業 [ソリューション事業]



©株式会社デアゴスティーニ・ジャパン

企業・自治体等のSP・PRツール、Webサイト受託制作

プラットフォーム事業



EC
プラットフォーム

電子コミック
プラットフォーム

出版流通
プラットフォーム

※21年8月に子会社化したイカロス出版の概要

■特徴

月刊誌『エアライン』をはじめとする航空関連を軸に 40 年の歴史を持ち、陸海空、旅行、防災の各分野で専門性の高いコンテンツを提供している出版社

■株式取得の理由

- コアなファンを有する競争力の高い専門コンテンツ分野の拡大
- イカロス出版の企画編集力に当社グループ内のリソースを効果的に活用したメディアミックス展開により、ファンコミュニティの構築、電子出版、Web サービスや法人向け事業等の開発で事業価値の向上を図る。

※21年8月に子会社化したイカロス出版の概要

■主な出版物

航空



ミリタリー



鉄道



防災その他

